

感染症・疫学情報課(平成19年度)

感染症情報関係

(1) 感染症情報解析のためのデータベース構築

市内183か所の患者定点医療機関からの感染症患者情報や、市内17か所の病原体定点医療機関からの病原体分離・検出情報等を基にデータベースを構築し、感染症流行状況の解析に活用した。

(2) 感染症発生動向調査事業

ア 感染症発生動向調査情報の収集・解析・提供

地方感染症情報センターとして、市内で発生した、法で定められた感染症の情報を収集し、中央感染症情報センターに報告している。

市内の感染症の流行状況を早期に把握し、的確な予防対策を講じることを目的とした感染症発生動向調査を、健康福祉局健康安全課と共同して行った。市内183か所の患者定点医療機関から受けた感染症患者情報を収集し、衛生研究所の代表及び専門家等による横浜市感染症発生動向調査委員会で解析を行い、市民・医療機関等を対象に、インターネット(URL: <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>)、電子メール、郵送等を用いて情報提供を行った。

イ 市内の感染症発生状況

平成19年における市内の主な感染症の発生状況について簡単にまとめた。

インフルエンザの平成19年～20年冬季の流行はAソ連型が主体で、20年に入りA香港型、B型もみられた。また、流行開始が11月上旬と最近5年間で最も早かったものの、ピーク時でも注意報レベルの「10」を上回ることはなく、最近5年間で最低の水準となった。

咽頭結膜熱はピーク値が0.65と中規模の流行であったが、5月中旬から9月上旬まで流行が長く続いた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はピーク値が2.81と、最近5年間で最も大きな流行であった。

感染性胃腸炎はピーク値が17.79と、中規模の流行であった。

手足口病はピークが7月中旬と例年並みとなり、ピーク値が1.29と比較的小規模の流行であった。

百日咳は全国的にやや大きな流行のあった平成12年、18年を上回る報告数であった。成人の報告が目立ち、全体の64%が20歳以上であった。

麻疹は平成16年から18年まで20人以下の報告にとどまっていたが、4年ぶりに100人を超える報告があった。5月～7月にかけて流行し、特に10代の報告が多いことが特徴であった。

疫学情報関係

(1) 公衆衛生情報の収集・解析・提供

ア インターネット情報の提供

O157を始めとする新興・再興感染症の発生状況等を市民に速やかに分かりやすく提供するため、平成10年3月に衛生研究所のWEBページを開設した。平成19年度のホームページ・総アクセス数は3,668,180件であった(表1)。

年間のアクセス数を項目別にみると、感染症情報がおよそ3分の2を占めていた。月別のアクセス件数は、平成20年3月に最も多く466,820件であった。これは、3月に「野兔病について」のアクセス件数が

228,686件と多かったことによるものと考えられる。

また、利用者からのEメールによる問い合わせ73件に対応した。問い合わせ内容の主な内訳は、感染症関連47件(64.4%)、食品衛生関連5件(6.8%)、生活衛生関連5件(6.8%)であった。

なお、アクセス数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計した。

イ オンライン情報検索システムの運用

試験検査、調査研究等の業務を円滑に進めていくためには、日頃から関連する専門書や学術雑誌、学会発表資料等の情報収集が必要不可欠となっている。

これらの情報収集のために独立行政法人・科学技術振興機構(Japan Science and Technology Agency, JST)が提供しているJDream とSTN(The Scientific and Technical Information Network)を利用して、科学技術文献の検索を行っている。

平成19年度の情報検索利用件数は16件であった。

これらの情報検索から得られた情報は、当所が行う試験検査・調査研究等に役立てられているほか、健康福祉局・各区福祉保健センター等からの問合せ、照会等に対しても活用されている。

ウ 蔵書検索システムの運用

平成19年度の購入図書は和書44冊であった。したがって、蔵書総数は、和書3,823冊、洋書280冊となった。

エ 「横浜市保健・医療・福祉研究発表会」の運営に関する業務支援

平成19年8月に行われた第42回横浜市保健・医療・福祉研究発表会の発表予定者に対して、プレゼンテーションに係わる技術的支援を行った。

オ 公衆衛生に関する正しい知識の普及啓発

平成19年6月8日の施設公開において、体験コーナー「知ってびっくりあなたの健康年齢」を設け、市民に対して生活習慣病の予防に関する啓発を行った。

また、感染症予防に役立つ知識の普及を目的に、ミニセミナー「鳥及び新型インフルエンザ対策について」を実施するとともに、感染症発生動向調査事業に係わるパネルを展示した。

(2) システム保守とソフト開発

ア LANの管理

横浜市庁内LAN(YCAN)に接続されている当研究所のLAN(EIKEN; サーバ3台、クライアント約80台)の運用・管理を行った。

イ コンピュータのトラブルへの対応

LANで使用されているパソコン、及び周辺機器、更にアプリケーションソフト等のトラブルに対して技術的支援を行った。

(3) 検査情報月報の編集・発行

当所で行った試験検査、調査研究の結果を情報提供する目的で、毎月1回「検査情報月報」を編集し、関係機関42か所(124部)に発行した。また、本誌の一部をインターネットにより公開した。

表1 衛生研究所ホームページの月・項目別アクセス件数

(平成19年)

	19年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
概要	2,142	3,944	3,430	3,343	3,367	3,122	3,067	3,238	2,598
トピックス	2,263	4,366	3,856	2,711	2,129	1,667	1,926	2,526	2,533
感染症	139,812	281,238	228,715	195,975	219,025	136,884	163,851	225,850	177,732
保健情報	13,265	20,650	19,628	45,428	22,513	16,916	16,147	18,323	47,145
食品衛生	25,800	37,109	41,767	45,117	40,793	34,823	38,967	38,778	34,536
生活環境衛生	3,612	6,154	6,353	6,922	7,369	7,508	6,628	5,229	4,121
検査情報月報	9,951	16,334	19,329	20,938	20,385	15,093	12,203	12,879	13,331
その他	9,895	21,996	17,047	15,086	10,418	10,036	10,683	12,816	10,932
合計	206,740	391,791	340,125	335,520	325,999	226,049	253,472	319,639	292,928

	20年1月	2月	3月	合計	割合(%)
概要	3,046	3,326	2,614	37,237	1.0
トピックス	2,634	2,274	1,708	30,593	0.8
感染症	149,121	150,678	390,397	2,459,278	67.0
保健情報	15,218	15,016	13,749	263,998	7.2
食品衛生	47,290	56,332	32,062	473,374	12.9
生活環境衛生	4,659	4,311	4,211	67,077	1.8
検査情報月報	16,954	12,913	11,716	182,026	5.0
その他	12,254	13,071	10,363	154,597	4.2
合計	251,176	257,921	466,820	3,668,180	100.0

データ提供: 行政運営調整局IT活用推進課